

## 転移性脳腫瘍に対する定位放射線照射の遡及的多施設共同研究

### 1. 研究の対象

2013年1月1日以降 2015年12月31日の期間に当院で転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療を受けられた方。

### 2. 研究目的・方法

転移性脳腫瘍で定位手術的照射 (stereotactic radiosurgery: SRS) もしくは分割での定位放射線治療 (stereotactic radiotherapy: SRT) を施行された症例に対して局所効果・生存割合・有害事象などについて調査する。その上で、SRS と SRT の優劣性や全生存割合などの評価を行う。さらに探索的に予後因子や予測因子などの検討を行う。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、治療歴、副作用等の発生状況

### 4. 外部への試料・情報の提供

データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

日本放射線腫瘍学研究機構参加施設 (<http://www.jrosg.jp/>)

### 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。  
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

大阪国際がんセンター 放射線腫瘍科 診療主任 平田 岳郎

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

研究代表者：

大阪急性期・総合医療センター 放射線治療科 島本 茂利

以上